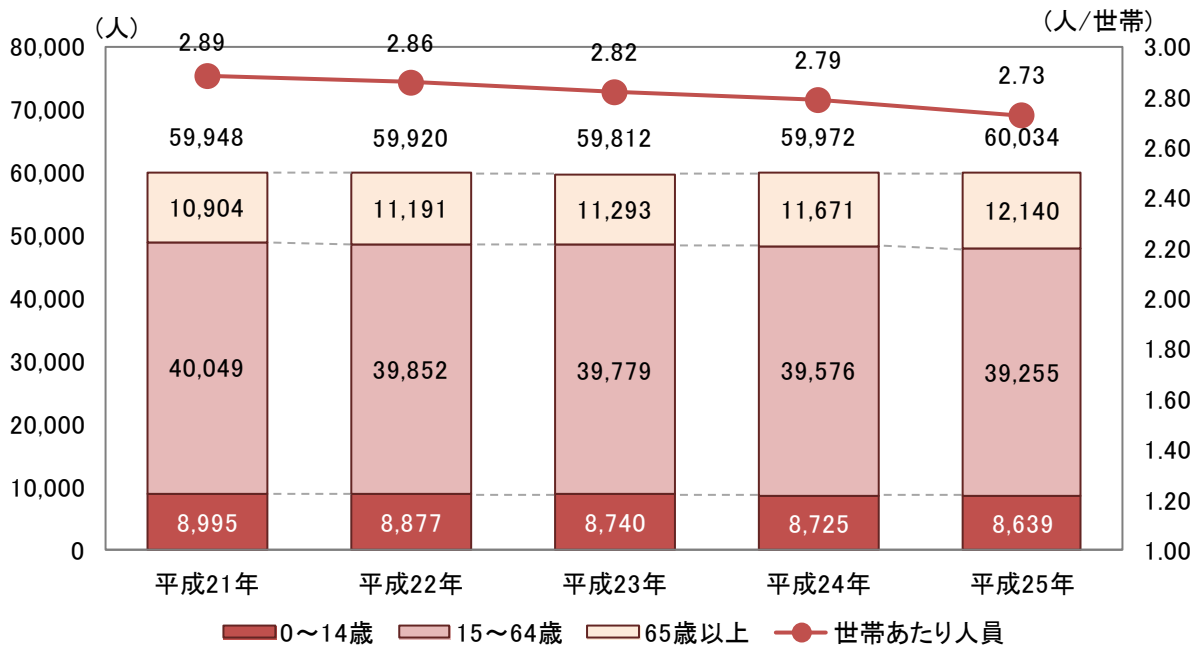


## 統計からみる下野市の子どもの概況

## 1 人口の推移

(1) 総人口（年齢3区分別）



資料：平成21年から平成24年までは住民基本台帳（各年3月末現在）と外国人登録人口の合計（年齢構成は推計）で、平成25年は住民基本台帳（各年3月末現在）です。

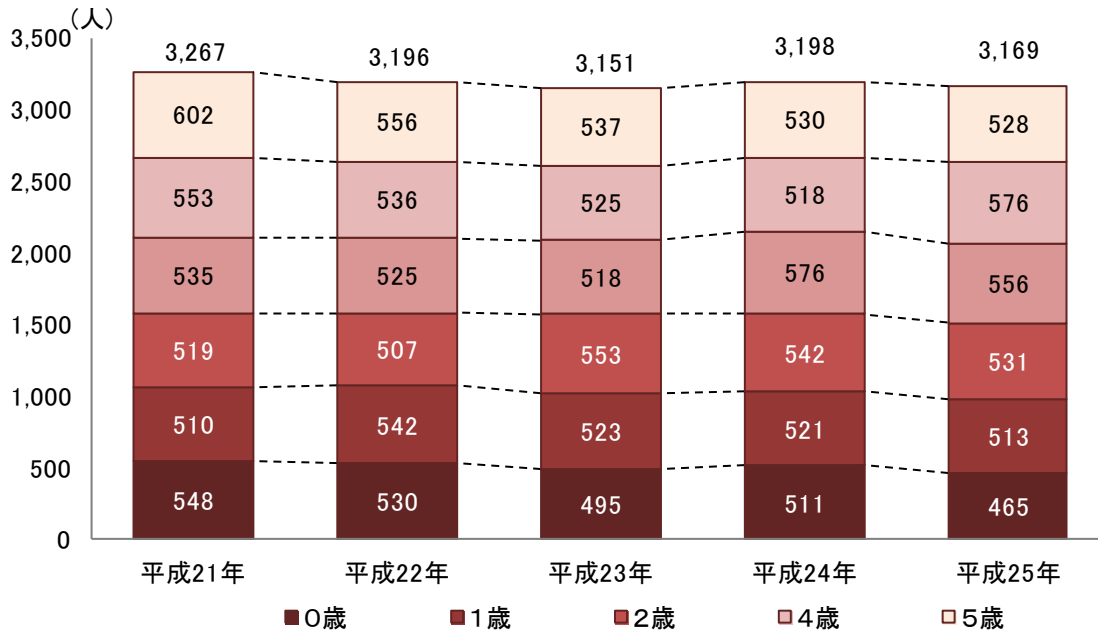
※外国人人口の取り扱いについては、資料5「子どもの人口推計について」を参照

本市の総人口は平成21年から平成24年にかけて、6万人を少し下回りながら推移していましたが、平成25年には60,034人となっており、ほぼ横ばいで推移しています。

平成21年から平成25年にかけてを年齢3区分別で見ると、0～14歳の年少人口は約4.0%減で356人の減少、15～64歳の生産年齢人口は約2.0%減で794人の減少、65歳以上の高齢者人口は約11.3%増で1,236人の増加となっており、0～14歳の年少人口と15～64歳の生産年齢人口は減少傾向である一方で、65歳以上の高齢者人口は増加する傾向にあります。

また、世帯あたり人員は年々減少する傾向にあり、平成25年では2.73人/世帯となっています。

(2) 未就学児童数の推移（0～5歳）

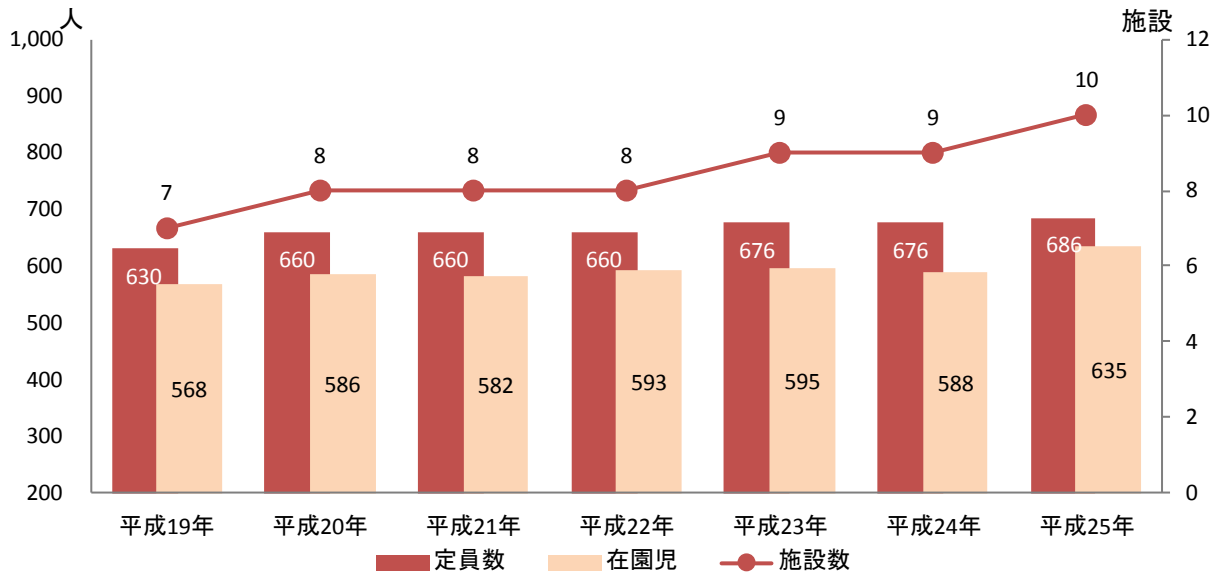


資料：平成21年から平成24年までは住民基本台帳（各年3月末現在）と外国人登録人口の合計（年齢構成は推計）で、平成25年は住民基本台帳（各年3月末現在）です。

0～5歳の人口は、平成21年から平成23年にかけては緩やかに減少する傾向でしたが、平成24年から平成25年にかけては横ばいでの推移となっています。0歳児をみると、平成25年には465人となり、平成21年に比べ約15.1%減で83人減少しています。

## 2 教育・保育施設児童数の推移

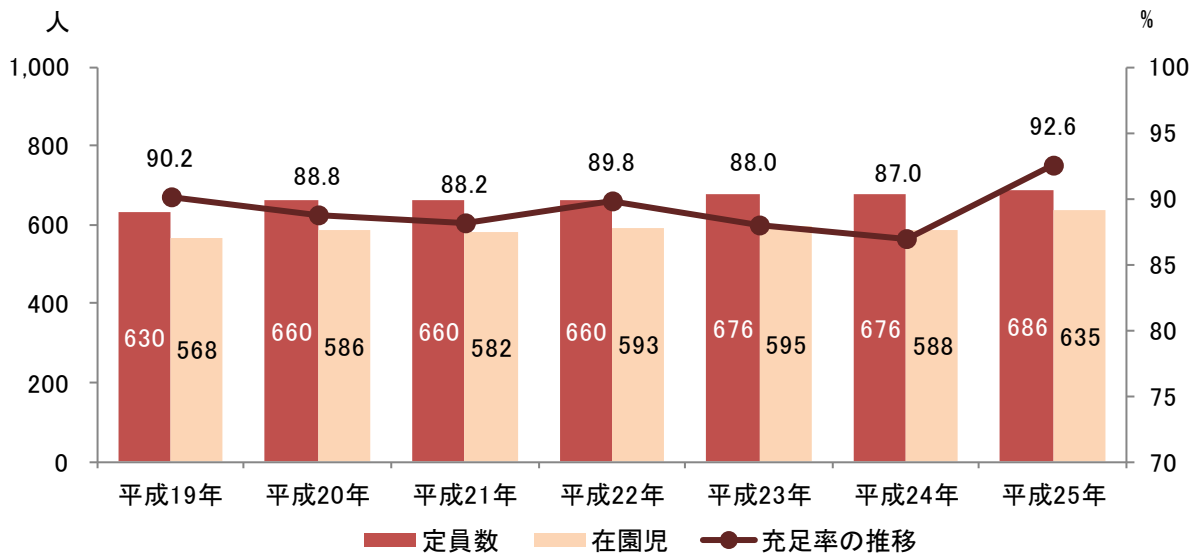
### (1) 保育園



資料：市児童福祉課調べ（各年4月1日時点）

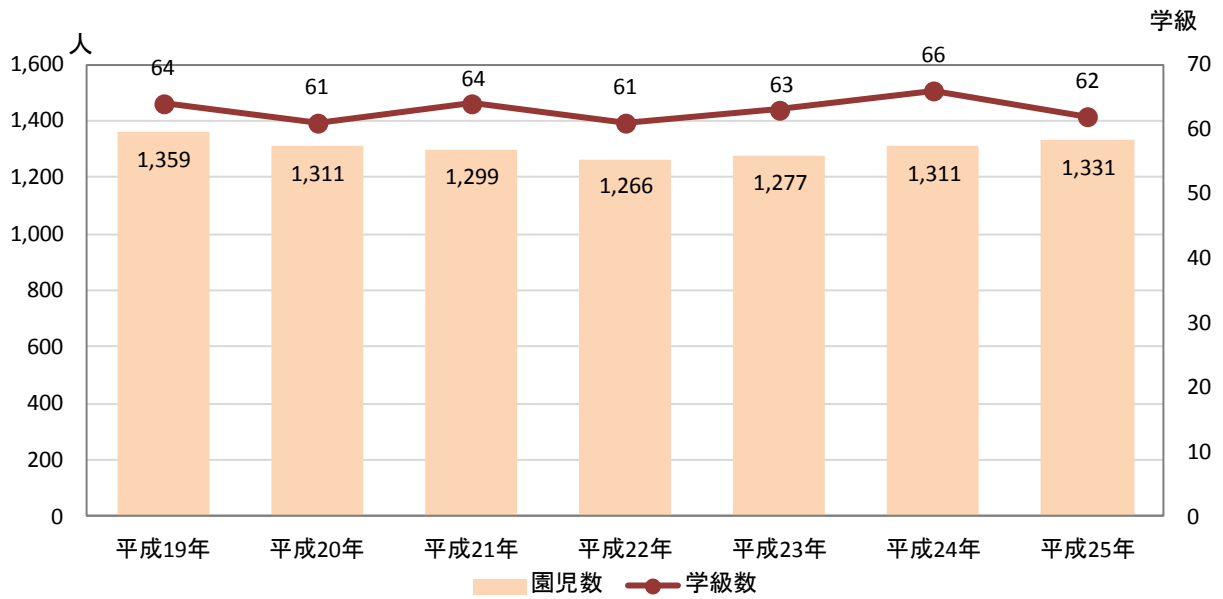
保育園は平成19年より3園増え、平成25年で10施設、定員数は686人となっています。在園児数については平成20年以降590人前後での推移となっていました。平成25年では1園増えたことにより600人を超え、635人となっています。

#### (1) - 1 保育園の定員に対する充足率の推移



定員に対する保育園の充足率は、平成19年以降、下降傾向となっていました。平成25年時点では92.6%と上昇しています。

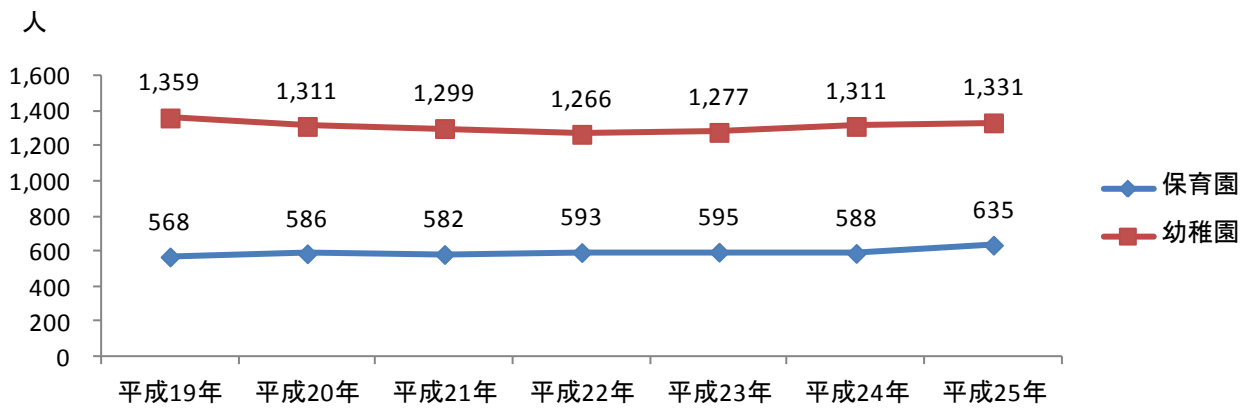
(2) 幼稚園



資料：学校基本調査（各年5月1日時点）

園児数は平成19年から平成22年にかけて約6.8%の減で93人減少していましたが、平成23年以降は増加傾向で、平成25年は平成22年に対して約5.1%増で65人増加し、1,331人となっています。

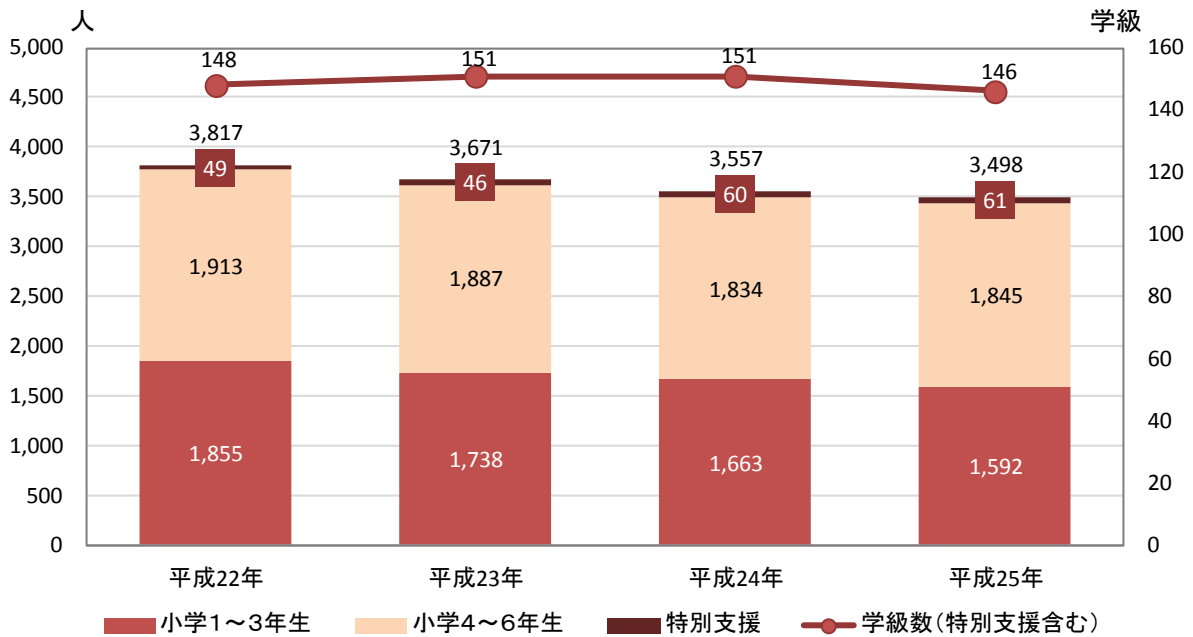
(3) 保育園、幼稚園の在園児数の推移



資料：学校基本調査（各年5月1日時点）

保育園と幼稚園の在園児数の推移をみると、幼稚園が保育園を大きく上回っています。

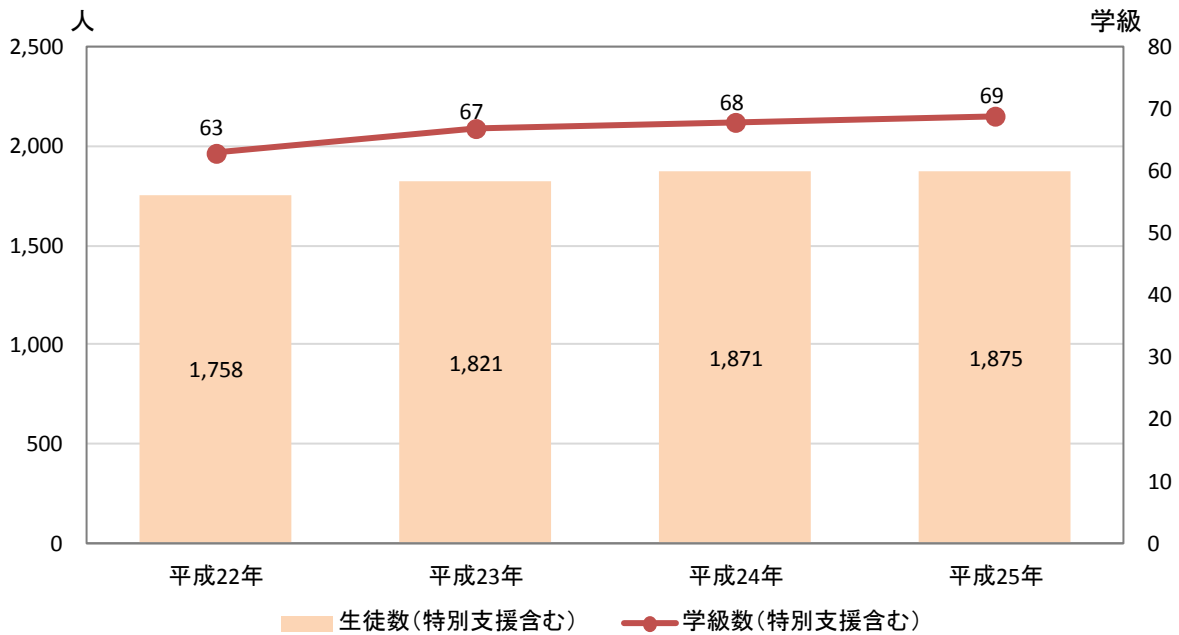
(4) 小学校



資料：市学校教育課調べ 各年5月1日現在

小学校の児童数は年々減少しており、特に小学1～3年生の減少が顕著で平成22年の1,855人から平成25年には1,592人へと、約14.2%減で263人の減少となっています。

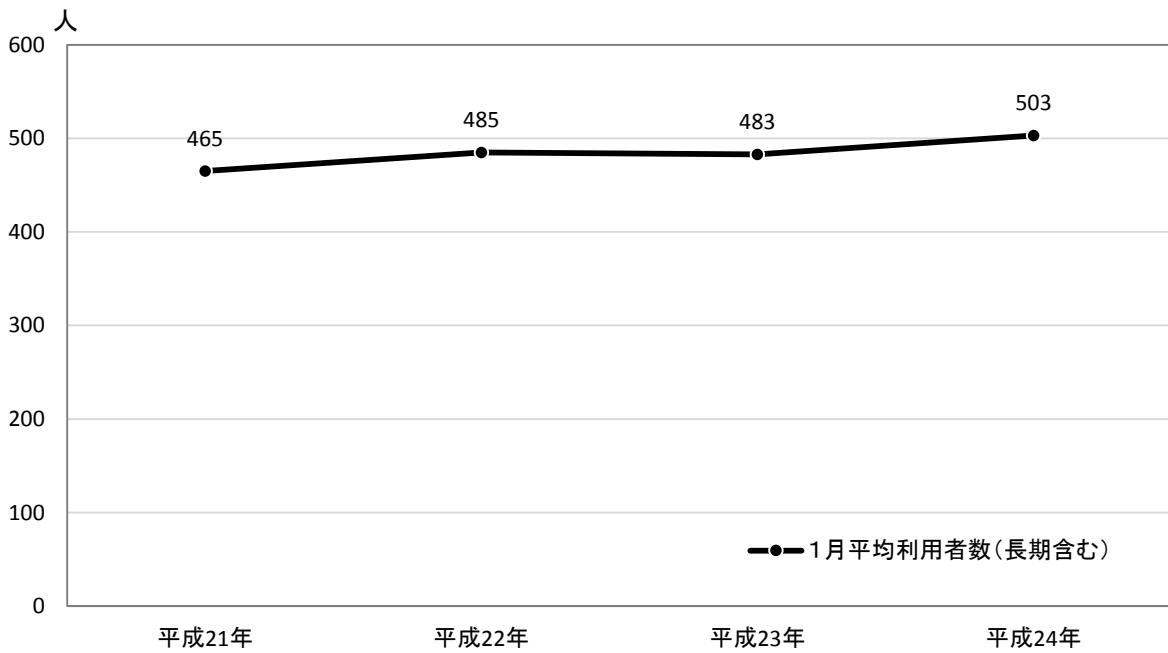
(5) 中学校



資料：市学校教育課調べ 各年5月1日現在

中学校の児童数は緩やかに増加していますが、平成24年から25年にかけてはほぼ横ばいとなっています。

(6) 学童保育（放課後健全育成事業）



資料：市児童福祉課調べ

学童保育の利用については、平成21年から24年にかけて緩やかに増加する傾向にあり、平成24年には503人となっています。

なお、平成25年の仮集計の1月平均利用者数（長期含む）は466人です。

※「長期」とは夏休み等の長期休業を指します。